

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

セーリング競技リハーサル大会

高松宮妃記念杯第 72 回全日本実業団ヨット選手権大会

第 26 回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会

2026 年全日本セーリング選手権大会



帆走指示書 (SAILING INSTRUCTIONS)

Organizing Authority (OA):

(公財)日本セーリング連盟、全日本実業団ヨット連盟、セーリングスピリッツ協会、
日南市 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ日南市実行委員会 日南市教育委員会 宮崎県セーリング連盟

[NP]は、この規則の違反を申し立てる艇による抗議は無効であることを意味する。これは RRS 60.1 を変更している。

[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。これは RRS A5 を変更している。

1. 規則

- 1.1. 本大会はセーリング競技規則（以下『RRS』という）に定義された規則を適用する。
- 1.2. RRS 70.3(c)及び日本セーリング連盟規程 5.4 に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決を最終とする。
- 1.3. 国スポウインドサーフィン級及びテクノ 293 級について、RRS B5 中の RRS 60 の変更及び RRS B8 は適用しない。
- 1.4. スナイプ級のレースマネジメントに関して、SCIRA が発行する「国内及び国際選手権大会運営のための運営規定 2021 RoC」を採用しない。
- 1.5. [DP] ILCA6 級及び ILCA7 級は、水上にいる間は、直径 6 mm、長さ 8 m 以上の水に浮くタイプのバウ・ラインをバウ・アイにつけておかなければならない。また、完沈を防ぐ目的で、マストトップに浮力体をつけてよい。

2. 帆走指示書の変更

- 2.1. 帆走指示書（以下「SI」という。）の変更(レース・エリアの変更を含む)は、それが発効する当日の当該種別・種目の最初の予告信号の 60 分以前までに、公式掲示板に掲示される。
- 2.2. レース日程の変更は、それが発効する前日の 19:00 までに公式掲示板に掲示される。

3. [DP] [NP] 識別・カメラや電子機器

- 3.1. 艇は OA により選択され支給された電子機器を艇の指定された位置に搭載するよう要求されることがある。艇はこの要求に従わなければならない。
- 3.2. [SP] 競技者は、レース委員会により準備されたトラッキングシステムの端末機器を指定された位置に搭載しなければならない。
- 3.3. [SP] 端末機器は、レース委員会の指示通り返却しなければならない。なお、トラッキングシステム端末機器受け渡し方法については、別途案内するものとする。

4. コミュニケーション

- 4.1. 競技者への通告は、[公式掲示板](https://www.racingrulesofsailing.org)（大会 RacingRulesOfSailing.org 以下「大会 RRS.org」という。）に掲示される。[公式掲示板](https://www.racingrulesofsailing.org)はオンラインのみとし、大会 web サイトで利用できる。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これは RRS 61 を変更している。

大会公式掲示板 URL: <https://www.racingrulesofsailing.org/documents/15573/event>

大会 web サイト URL: <https://miyazaki2027-sailing-nichinan.com/>

- 4.2. [DP]緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。ただし、レース委員会が用意するトラッキングシステムは含まない。
- 4.3. 水上ではレース委員会は OA が用意した無線機で支援者に連絡を行う。詳細はサポートチーム規程（STR）に示す。
- 4.4. [DP][NP]競技者は、大会 LINE オープンチャットで情報を得ることが出来る。ただし、大会 LINE オープンチャットでの選手・監督・支援者からの投稿は認めない。詳細は NOR 付則文書 A を参照のこと。

5. [DP] 行動規範

- 5.1. 競技者は、OA、委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 5.2. 競技者および支援者は、OA によって提供された、装備の取扱いを、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

6. 陸上で発せられる信号

- 6.1. 陸上で発する信号は、本部ユニットハウス 2 階北側に設置された掲揚ポールに掲揚する。
- 6.2. [DP][NP] 音響 1 声とともに掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗掲揚後次に示す分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、水上に浮かべてはならない。「D 旗」が「クラス旗」の上に掲揚された場合、その種目のみに適用する。

レース・エリア	予告信号は、次に示す分以降
A	35
B	25

- 6.3. 陸上に回答旗が掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1 分」を「次に示す分以降」と置き換える。

レース・エリア	予告信号は、次に示す分以降
A	35
B	25

7. スケジュール

7.1. レース日程

月 日	時 間	内 容
8月20日（木）	9：30～17：00	搬入受付
8月21日（金）	9：30～16：00	受 付 ・ 計 測
8月22日（土）	8：00～ 9：30	受 付
	8：00～11：00	計 測
	9：30～10：00	開会式
	10：00～10：40	競技運営説明会
	12：15	最初のクラスの予告信号時刻
8月23日（日）	9：30	最初のクラスの予告信号時刻
8月24日（月）	9：30	最初のクラスの予告信号時刻
	14：00～15：00	閉会式（表彰式）

また、SI Addendum B にレース日程及びレース数詳細を示す。

- 7.2. 各レース・エリアの引続き行うレースは、その前のレースの各種別・種目終了後、引続き行う。
- 7.3. 天候等の事情により、レース日程及びレース・エリアは、レース委員会において変更することがあり、その変更は SI 2 に従って行われる。

- 7.4. 1つのレースまたは一連のレースがまもなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分前に音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 7.5. 当該種別・種目の 1 日に実施する最大レース数は 4 レースとする。
- 7.6. 8 月 24 日(月)には、11 時 00 分より後に予告信号を発しない。

8. クラス旗

- 8.1. 各種別・種目のクラス旗は、以下のとおりとする。

クラス旗	旗色
470 級	白地に青記章
スナイプ級	白地に赤記章
ILCA 7 級	白地に赤記章
420 級	白地に青記章
セーリングスピリッツ級	白地に黒記章
ILCA 6 級	ピンク地に赤記章
国スポウインドサーフィン級 テクノ 293 級	白地に青記章

9. レース・エリア

- 9.1. SI Addendum C にレース・エリアの位置を示す。
- 9.2. レース・エリアが SI Addendum C のとおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。この項は、RRS 61 を変更している。

10. コース

- 10.1. SI Addendum E の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 10.2. 予告信号以前にシグナルボートに、帆走すべきコース及び最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 10.3. コースの短縮は行わない。これは RRS 32 を変更している。

11. マーク

- 11.1. マークは、次のとおりとする。

レース・エリア	マーク 1, 2	3s,3p, 4s,4p	新しいマーク	スタート・マーク フィニッシュ・マーク
A 海面	ピンク色円筒形	オレンジ色のロボットマーク または ピンク色円筒形	青色円錐形	レース委員会船
B 海面	黄色円筒形	オレンジ色のロボットマーク または 黄色円筒形	緑色円錐形	レース委員会船

12. スタート

- 12.1. スタート・ラインは、スタート・マーク上の「オレンジ旗」を掲げたポールのコース側との間とする。
- 12.2. [DP][NP] 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。スタート・エリアはスタート・ラインから 50m 以内のエリアとし、その図を SI Addendum D に示す。
- 12.3. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は RRS A5、A10 を変更している。

13. コースの次のレグの変更

13.1. コースの次のレグを変更する場合、レース委員会は、次の対応を行う。

- (a) SI 11 に規定する新しいマークを設置する
- (b) フィニッシュ・ラインを動かす
- (c) 風下ゲートを動かす

13.2. 実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

14. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、レース委員会船の青色旗を掲揚しているポールのコース側との間とする。

15. ペナルティー方式

15.1. 付則 P を適用する。

15.2. 付則 T を適用する。『レース後ペナルティー』を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは、RRS A10 を変更している。

16. タイム・リミットとターゲット・タイム

16.1. マーク 1 のタイム・リミット、レース・タイム・リミット (RRS 35 参照) およびフィニッシュ・ウインドウを下表に示す。

種目	レース・タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	フィニッシュ・ウインドウ	ターゲット・タイム
470 級	60 分	25 分	12 分	40 分
スナイプ級	60 分	25 分	12 分	40 分
ILCA 7 級	60 分	25 分	12 分	40 分
420 級	60 分	25 分	12 分	40 分
セーリングスピリッツ級	60 分	25 分	12 分	30 分
ILCA 6 級	60 分	25 分	12 分	40 分
国スポウインドサーフィン級	30 分	15 分	10 分	20 分
テクノ 293 級	30 分	15 分	10 分	20 分

16.2. マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースは中止する。

16.3. フィニッシュ・ウインドウとは、最初の艇がコースを帆走した後、艇がフィニッシュする時間のことである。スタートしたが、フィニッシュ・ウインドウ内にコースの帆走ができず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーを課されず、また救済を与えられなかった艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった」(DNF) と記録される。これは、RRS 35、A 5.1、A 5.2、A 10 を変更している。

16.4. ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 61 を変更している。

17. 審問の要求

17.1. 抗議及び救済または審問再開の要求は、大会 RRS.org のオンラインフォーム "[Hearing Request \(審問要求書フォーム\)](#)" により、適切な制限時間内にプロテスト委員会事務局に提出しなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、プロテスト委員会事務局で入手できる用紙に記入し、同事務局に持参して提出することができる。

17.2. それぞれの種別・種目に対して、抗議締切時刻はその日の当該種別・種目の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から下記に示す時間

とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。公式掲示板の「[抗議締切時刻通告](#)」より確認することができる。

レース・エリア	時間
A	80 分
B	60 分

- 17.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を[公式掲示板](#)に掲示する。審問は運営棟 1 階のプロテスト審問室にて公式掲示板に掲示した時刻に始められる。
- 17.4. 委員会による抗議の意思を、RRS 60.2(d)に基づき艇に伝えるために[公式掲示板](#)に掲示する。
- 17.5. RRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストを掲示する。
- 17.6. RRS 63.5(d) に関する事項の「責任ある機関」は本大会のテクニカル委員会である。
- 17.7. 審問再開は、判決を通告された日の翌日の 9 時 00 分までの間に限り求めることができる。ただし、8 月 24 日(月)に判決を通告された場合には、判決を通告されてから 15 分以内とする。これは、RRS 63.7 を変更している。
- 17.8. 8 月 24 日(月)では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は判決の掲示から 15 分以内でなければならない。これは RRS 61.2 を変更している。
- 17.9. RRS40.1、RRS50.1(b)、クラス規則および大会装備規程の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。
- 17.10. [SP]印の規則の違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示され、得点記録の略語は STP とする。これは規則 A10 を変更している。
- 17.11. SI18.2.の規定に基づく得点照会に対する回答を受けた後に提出された救済要求は、次の場合、締切時刻を満たしているものとする。
- 17.11.1. 得点照会が、得点またはシリーズ成績の情報が入手可能となった後、常識的にできるだけ早く提出され、かつ
- 17.11.2. 救済要求が、得点照会に対する回答が通知されたあと常識的にできるだけ早くに提出された場合。回答はオンライン・システムによって通知される。この項は RRS 61.2 を変更している。

18. 得点

- 18.1. 本大会は各種別・種目とも 6 レースが予定され、それぞれ 1 レースの完了をもって成立する。
- 18.2. 艇は、公式掲示板に掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、大会 RRS.org のオンラインフォーム「[Scoring Inquiry \(得点照会のフォーム\)](#)」をレース委員会事務局に提出することで、得点及び成績の訂正を要請する事ができる。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、レース委員会事務局に持参して提出することができる。
- 18.3. カットレース
- 18.3.1. 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 18.3.2. 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 18.4. 同時にスタートした種目については、そのレース毎の順位で得点を計算し、個別種別毎での得点計算は行わない。
- 18.5. 470 級、スナイプ級、470 級ミックス、スナイプ級ミックス、420 級及び ILCA6 級の得点は、オープン参加の艇を含め各レース一連の順位を決定し得点を与える。
- 18.6. スナイプ級のチームのシリーズ得点は、チームを構成する 2 艇のシリーズ得点の合計とし、合計得点が少ないチームを上位とする。1 艇チームの場合は、1 艇のシリーズ得点に 1 艇の DNC(参加艇数+1 点)のシリーズ得点を加算したものを、そのチームの得点とする。
- 18.7. スナイプ級のチーム得点が同点の場合、構成する 2 艇のうち上位の 1 艇のシリーズ順位を比較し、上位のチームを上位とする。

19. [NP]安全規定

19.1. チェックアウトチェックイン

19.1.1. [SP]レースに参加しようとする艇は、出艇申告書に艇長が署名しなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇は、その日の予告信号予定時刻の 30 分前までにリタイア DNC 申告書に艇長若しくは監督(代理)が署名しなければならない。

19.1.2. [SP]帰着した艇は、帰着後速やかに、また、その日の当該種別・種目の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から下記に示す時間以内に帰着申告書に艇長が署名しなければならない。ただし、レース委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。

レース・エリア	時間
A	80 分
B	60 分

19.1.3. 水上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前に SI 22.の運営船にその旨を伝えること。また、帰着後速やかに SI 19.1.1.のリタイア DNC 申告書に艇長若しくは監督(代理)が署名しなければならない。また、帰着した競技者は、抗議締切り時間内に「帰着申告書」に署名しなければならない。

19.1.4. [SP]一度ハーバーに帰着した艇（SI 19.1.3.）及び、SI 19.1.1.のリタイア DNC 報告の手続きを行った艇が再度レースに参加しようとする（出艇する）場合、競技者はリタイア DNC 申告書に出艇の申告署名をしなければならない。

19.2. [DP] レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

19.3. 救助を必要とする艇の乗員は、頭上で手を大きく振って救助要請を行うこと。

19.4. 委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告及び強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。これは RRS 61 を変更している。

19.5. レース委員会が V 旗を掲揚した場合、支援者艇に対する救助要請を示しており、支援者艇はレース委員会の指示に従わなければならない。この項は RRS 37 及びレース信号を変更している。（サポートチーム規程（STR）5.1 参照）

20. [DP]装備の交換

20.1. 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に大会 RRS.org のオンラインフォーム“[Equipment Substitution Form（装備交換フォーム）](#)”にてテクニカル委員会に行われなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、テクニカル委員会事務局で入手できる用紙に記入し、同事務局に持参して提出することができる。また、交換申請の詳細は大会装備規程に示す。

21. [DP] 装備と計測のチェック

21.1. 艇はレース前の装備検査合格後、最終レース終了までの間常にクラス規則及び大会装備規程に従っていないといけない。ただし、日常のメンテナンス、テクニカル委員会による許可を受けた修理交換作業中はこの限りではない。

21.2. 水上で艇はフィニッシュ後、テクニカル委員会より、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。陸上では、艇または装備がクラス規則、大会装備規程、NoR および SI に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

22. 運営船

運営船の標識は次の通りである。

運営船	識別旗
-----	-----

競技委員会船	白地に赤字「VIP」
レース委員会船	白地に赤字「RC」
プロテスト委員会船	赤地に白字「PROTEST」
PRO船	白地に赤字「RC」
テクニカル委員会船	白地に黒字「TC」
救助船	緑地に白字「RESCUE」
報道船	白地に緑字「MEDIA」
警戒船	白地に赤字「警戒艇」
連絡艇	蛍光黄色地に黒字「連絡艇」

23. 支援者艇

支援者艇は、サポートチーム規程（STR）に従わなければならない。

24. ゴミの処分

ゴミは支援者艇または運営船に渡してもよい。

25. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

26. 肖像権

競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または装備に関する動画、スチール写真及び撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、OA に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

27. 故意または過失によって生じた損害の補償

OA は、競技者または支援者に対して、その故意または過失によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。その損害の補償に関しては、競技委員会の査定に従うものとする。

SI Addendum A リンク先

◇大会ホームページのリンク URL

<https://miyazaki2027-sailing-nichinan.com/>



◇大会公式掲示板 URL

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/15573/event>

大会 RRS.org QR コード

公式掲示板



得点照会フォーム



審問要求書フォーム



装備交換フォーム



審問予定



審問の判決

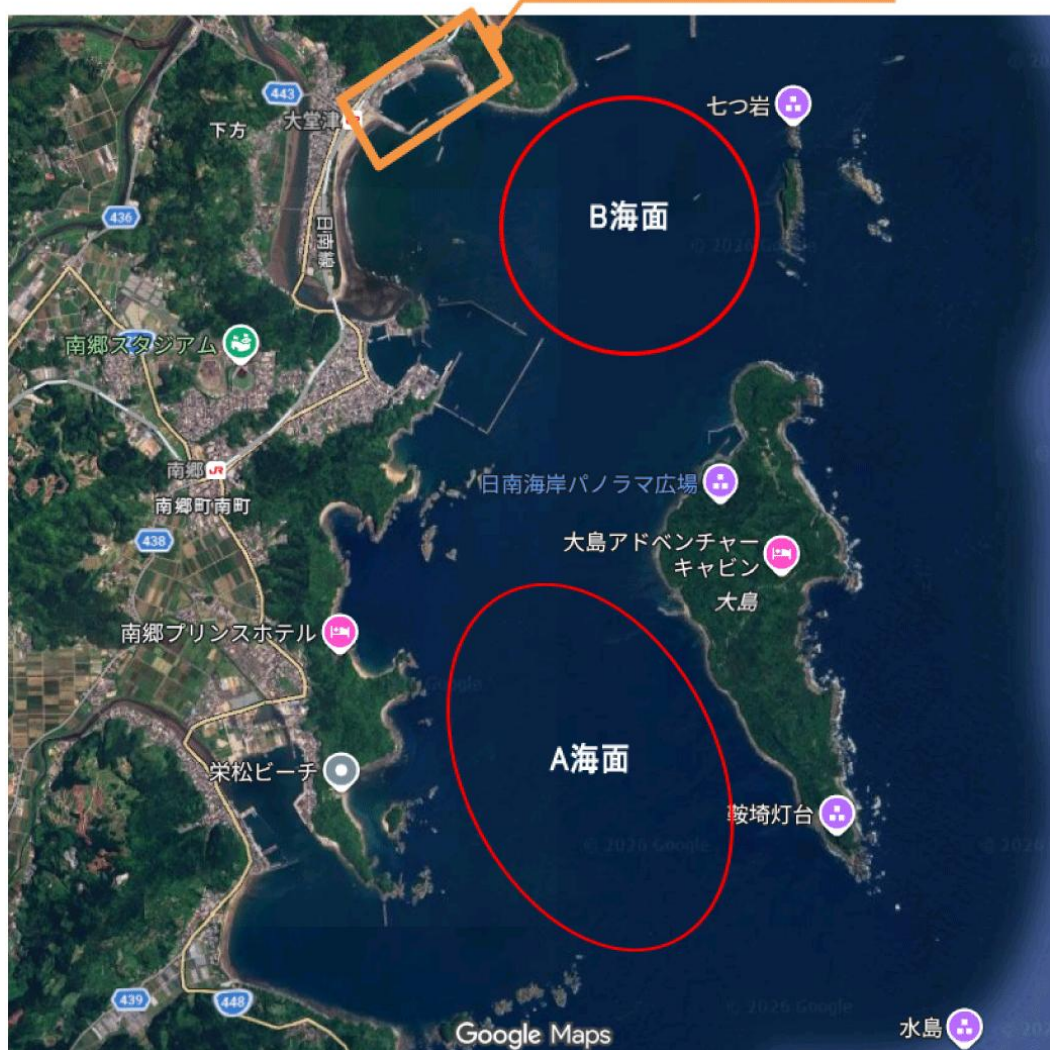


SI Addendum B レース日程及びレース数

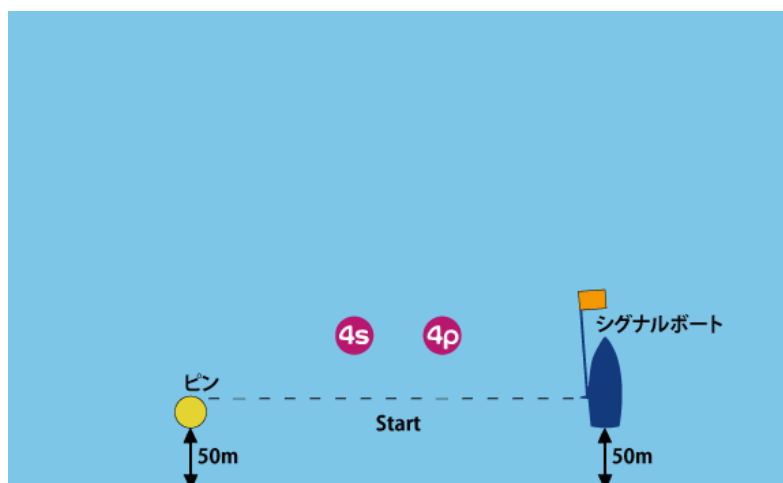
種目	8月22日(土)		8月23日(日)		8月24日(月)	
	レース・エリア 予告信号時刻	レース No	レース・エリア 予告信号時刻	レース No	レース・エリア 予告信号時刻	レース No
470 級 470 級ミックス	A 12:15	R1 R2	A 12:00	R3 R4 R5	A 09:30	R6
スナイプ級 スナイプ級ミックス	A 12:22	R1 R2	A 12:07	R3 R4 R5	A 09:37	R6
ILCA7 級	A 14:00	R1 R2	A 09:30	R3 R4 R5	A 10:20	R6
420 級	A 14:07	R1 R2	A 09:37	R3 R4 R5	A 10:27	R6
セーリングスピリッツ級	B 12:15	R1 R2	B 09:30	R3 R4 R5	B 09:30	R6
ILCA6 級	B 12:22	R1 R2	B 09:37	R3 R4 R5	B 09:37	R6
国スポウインドサーフィン級 テクノ 293 級	B 14:00	R1 R2	B 12:20	R3 R4 R5	B 10:20	R6

SI Addendum C レース・エリア

大堂津特設セーリング会場

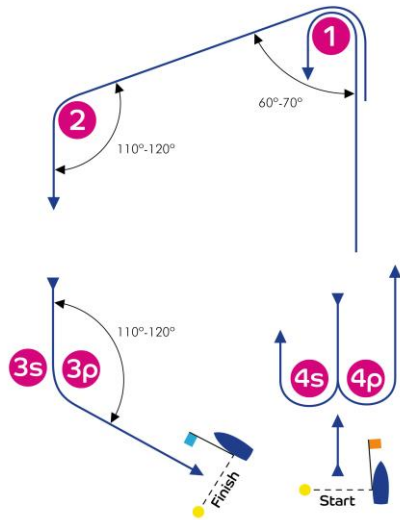


SI Addendum D スタート・エリア



SI Addendum E コース図

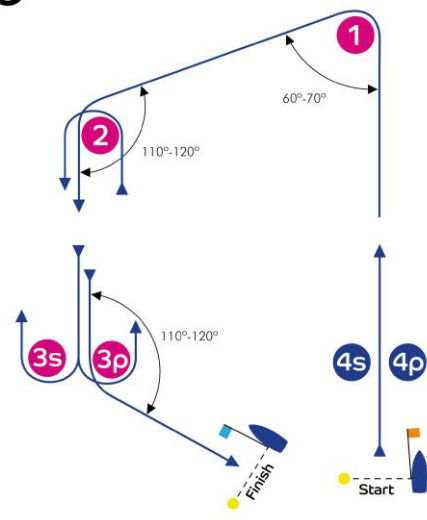
I



Course: Inner Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
I2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish

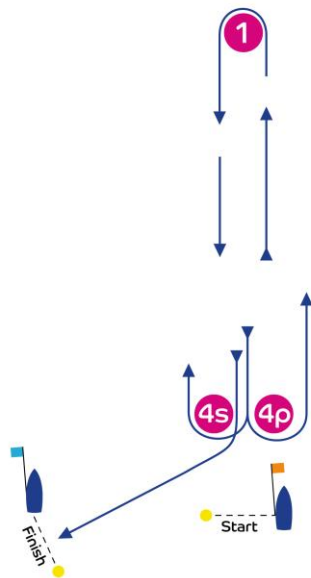
O



Course: Outer Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
O2	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O3	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O4	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish

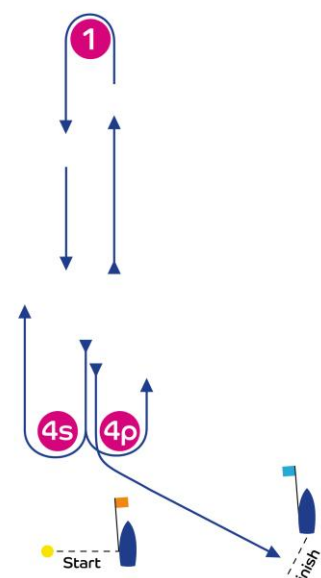
LG



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LG2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish

LR



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LR2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish